

延岡中学校 学校だより 8月号

生徒・保護者・地域の皆様へ

2学期を迎えて（希望を持ち前向きに）

短い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。
今年は梅雨の時期がとても長く、7月下旬ようやく梅雨明け宣言が出されましたが、その後は、連日猛暑が続きました。

新型コロナウイルス感染症対策に加え、熱中症にも気をつけねばならず、これまでの夏休みとは違い、大変な夏だったことと思います。その中で生徒の皆さんが、全員無事に2学期を迎えることができたことは、大変うれしいことです。

保護者や地域社会の皆様には、多方面にわたり御支援・御協力をいただき感謝を申し上げます。2学期も新型コロナウイルス感染症対策に加え、暑さ対策（熱中症対策）に取り組みながら、日々の学校生活を大事にして行きたいと考えています。

ところで、先月7月23日（木）は、本来だと東京五輪の開会式が実施される日でした。東京五輪が1年延期となり、当日は東京五輪1年前イベントがライブ配信されました。ちょうど延岡地区中体連大会が始まった頃でしたが、そのセレモニーで皆さんもよく知っている白血病という大きな病気を乗り越えて復帰した、水泳の池江璃花子選手が世界に向けてメッセージを発信しました。

その内容は「今日、ここから始まる1年を単なる1年の延期と捉えるのではなく、『プラス1』と捉える。私はもう一度プールに戻りたい。その一心でつらい治療を乗り越えることができた。希望が遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても前を向いて頑張れた」（抜粋）でした。

生徒の皆さんにも、池江選手のように、希望（目標）を持って、常に未来志向で前向きな考えを持って2学期を過ごして欲しいと思います。

防災の日（9月1日）を前に

8月7日に、東京にある鉄道総合技術研究所と（株）東芝等から6名の方が来校されました。目的は、本校の第2棟の屋上に、気象観測装置を設置するためでした。延岡市では、2006年（平成18年）と2019年（昨年）に竜巻が発生しています。この観測装置は、竜巻発生メカニズムを調べるための機材だそうです。

延岡市で発生した過去の竜巻は、2回とも9月に発生しています。2006年の竜巻では、特急電車が横転し死者も出るなど甚大な被害が出ました。昨年の竜巻でも、たくさんのお家が被害にあっています。災害は九州内で頻発しています。今年7月の熊本県球磨川流域の豪雨災害、3年前に福岡県と大分県を襲った北部九州豪雨、4年前の熊本県で発生した2度にわたる地震等では、たくさんのお家の被害や財産被害が出ています。

9月1日は防災の日です。この日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災を踏まえて昭和35年に制定されました。私たちは、日頃、あまり災害や防災について考えることはありませんが、この日を機会と捉えて、もし「熊本で降ったような豪雨が五ヶ瀬川流域で発生したら」、「昨年のような竜巻が自分の家の前を横切ったら」、「南海トラフ地震が発生し、大津波が発生したら」など想定し、その時に自分や家族がどのように行動（避難）し、どのように（家族で）連絡を取り合うかなどを予め決めておいてください。

「災害は忘れたころにやってくる」とよく言われます。9月1日を一人一人が災害や防災について考えを深める日にして欲しいと思います。